

みんなで考えよう 将来の「土地利用」

土地利用計画策定 市民会議ニュースレター

～ 第 2 号 ～

土地利用計画策定基調講演会及び第 2 回市民会議

日 時 平成 17 年 10 月 29 日 (土) 9:00～12:00

場 所 飯田市役所本庁舎 3 階 301～303 号会議室

参 加 委員 29 名、コーディネーター、事務局

(講演会には、市民会議委員・地区懇談会委員など約 130 名余の方が聴講されました。)

土地利用計画策定基調講演会

名古屋大学大学院環境学研究科 助教授 加藤博和先生を講師に迎え、「人と地球にやさしい地方都市実現のための土地利用計画」をテーマに基調講演会が開催されました。

< 講演内容の要旨 > (内容の詳細は、「基調講演会 報告書」をご覧ください)

- ・市の掲げる環境文化都市をパワーアップさせる「文化経済自立都市」を実現するためには、土地利用計画がしっかりしていないと絵に描いた餅である。
 - ・飯田市は車に依存しながら都市を拡大してきた。車依存型の都市は、持続可能な都市といえるのか。都市のサバイバル時代である 21 世紀を生き残れない!?
 - ・飯田に限らず日本において、大きな価値観の転換期に入っている。自動車に乗り放題、化石燃料を使い放題の時代ではない。
 - ・やりたい放題やっているのは、これまで当たり前と思っていた資源や景観が気づかないうちになくなってしまう。
 - ・成長社会ではない、また、人口が減少して高齢者が増えている中で、そういった方々が住みやすい社会をつくるには、もっとコンパクトに集まったまちをもう 1 回考えなくては行けない。
 - ・この地域としてどう考えるか。先進地ヨーロッパは既に「かじ」を切っている。
 - ・地域経営戦略を行い、土地利用計画に関わるシステムを見直し、コンパクトな(分散集中型の地域構造)まちづくりと公共交通の充実で、環境に配慮した個性創出の両立の実現が必要。
- など、飯田市の土地利用計画策定に対して、様々な視点からご講演をいただきました。



加藤先生の土地利用計画や飯田市などへの鋭いご指摘に、皆さん、真剣に聴講されていました。

講演会を終えて、委員の方々からは、「土地利用計画の必要性・重要性がわかった」、「大至急どうにかしなければという気持ちが強くなった」、「今後の計画策定において参考になった」などといった意欲的なご意見・ご感想をいただきました。

第2回市民会議（ワークショップ「飯田市を再発見しよう！」）

加藤先生の講演会終了後、鈴木俊治さん（有）ハーツ環境デザイン）をコーディネーターに、市全体を見渡しなが、地区懇談会から出たキーワード 生活・公共・福祉、商業・工業・農業、自然・歴史・文化のテーマごとに飯田市の「自慢できること」「問題になっていること」を5グループに分かれて話し合いました。

ワークショップの結果

飯田市の自慢や課題について各テーマで話し合いました。主な意見は以下のとおりです。（鈴木コーディネーターより）

テーマ	飯田市の自慢	飯田市の課題
生活 公共 福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人情がある ・ コミュニティ活動がさかん ・ 公共施設の充実 （公民館、教育、医療など） ・ 公共サービスの充実 （市民バスの運行など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島国根性 ・ 地域行事が多すぎる ・ 公共施設の利便性の改善 （施設が分散配置されている） ・ 公共交通のより一層の充実 （市民バスの運行頻度やルートの充実 他） ・ 道路（歩道を含めた）未整備 （緊急、防災時） ・ 無秩序な土地整備 （アパートの乱立など） ・ 少子高齢化 ・ 若者の定住が少ない
商業 工業 農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物 ・ 夜の飲み屋が多い ・ 大型店は便利 ・ 農地が身近にある ・ 地元ブランド （農産物、和菓子、水引） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地活性化 ・ 商店街、商店主の意欲不足 ・ 後継者不足 ・ （若者の）職場不足 ・ 害獣対策 （虫、猿、猪、鹿、山蛭など） ・ 農地の有効活用を！ （農地転用、荒廃地、虫食い状態など） ・ 観光農業の導入をしてはどうか
自然 歴史 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源になるものが多くある ・ 自然環境 （天竜峡、田園風景、中央アルプスの風景、風越山） ・ 美しい街並み （町割り、りんご並木・桜並木） ・ 古い建物、神社 ・ 美術博物館 ・ 多くのイベント （人形劇フェスティバル、地元の祭など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用されていない ・ 親しみやすい自然環境の整備 （自然共生型、水遊び） ・ 景観の保全 ・ 緑が少ない（旧市内）

次回は、今回の出た意見を基にテーマごと、もう少し詳細な内容について話し合っていきたいと思います。

〒395-8501 飯田市大久保町 2534 番地 Tel 22-4511 Fax 53-4511

連絡先 企画課土地利用計画係 担当：松村・松平 内線 3222

土地利用計画に関するご意見は、次のメールアドレスへお願いします

E-mail: ikikaku@city.iida.nagano.jp

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」